

## リンゴ病害虫の発生状況（8月）

### （1）リンゴ斑点落葉病

新梢葉での発生ほ場割合は、平年並でした（図1）。

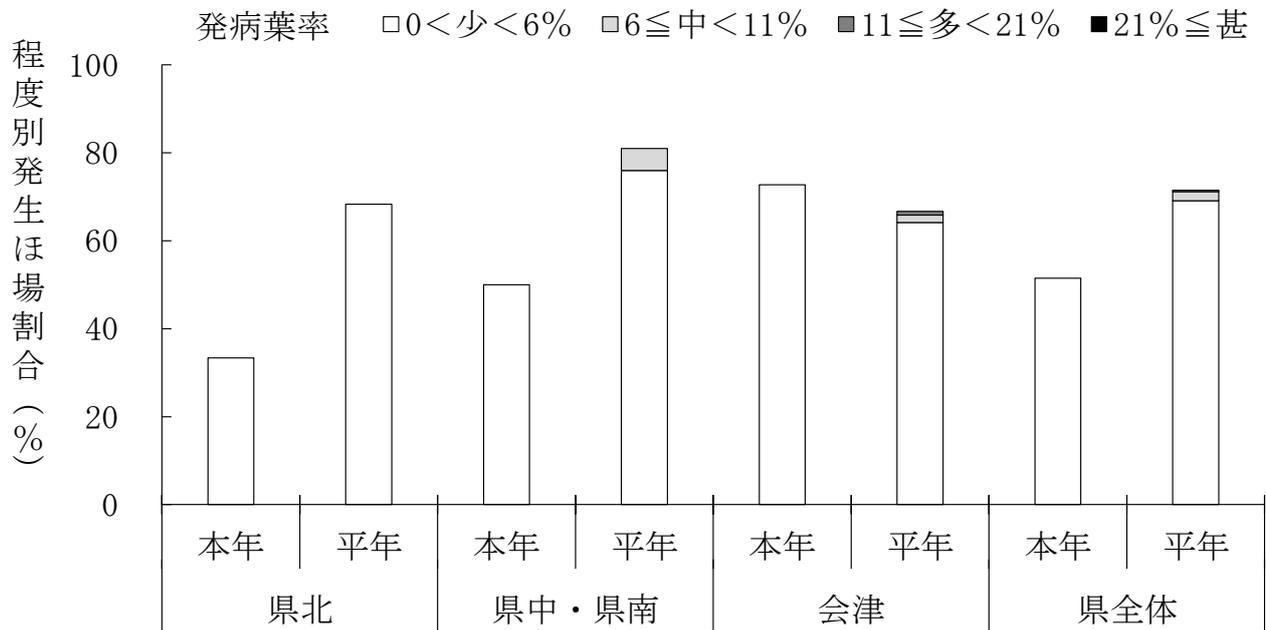


図1 リンゴ斑点落葉病の発生状況（8月中下旬）

### （2）リンゴ褐斑病

新梢葉での発生ほ場割合は、平年並の状況でした（図2）。現在、本病の二次感染期になるため、感染拡大を抑制するため天候に注意しながら、散布間隔があきすぎないように薬剤散布を実施しましょう（令和6年6月26日付け令和6年度病害虫防除情報（リンゴ褐斑病）参照）。

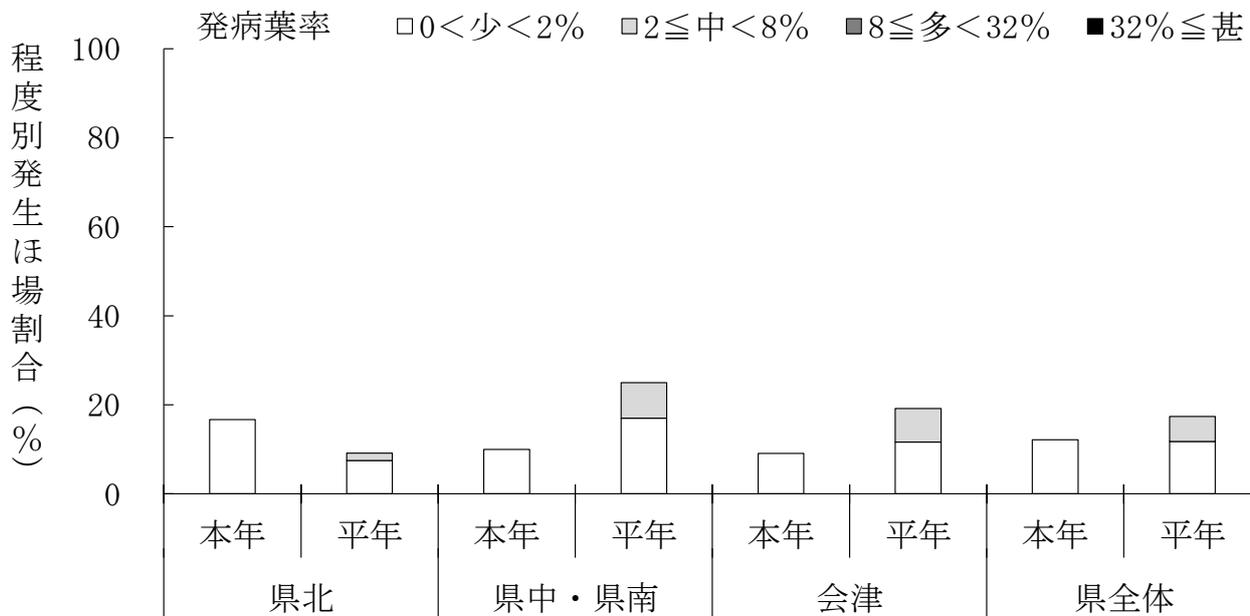


図2 リンゴ褐斑病の発生状況（8月中下旬）

### （3）リンゴ炭疽病

果実被害は、確認されませんでした。

二次感染を防ぐため、発病果実は園外に持ち出し、適切に処分しましょう。

#### (4) キンモンホソガ

新梢葉での被害発生ほ場割合は、中通りで平年よりやや高い状況でした（図3）。

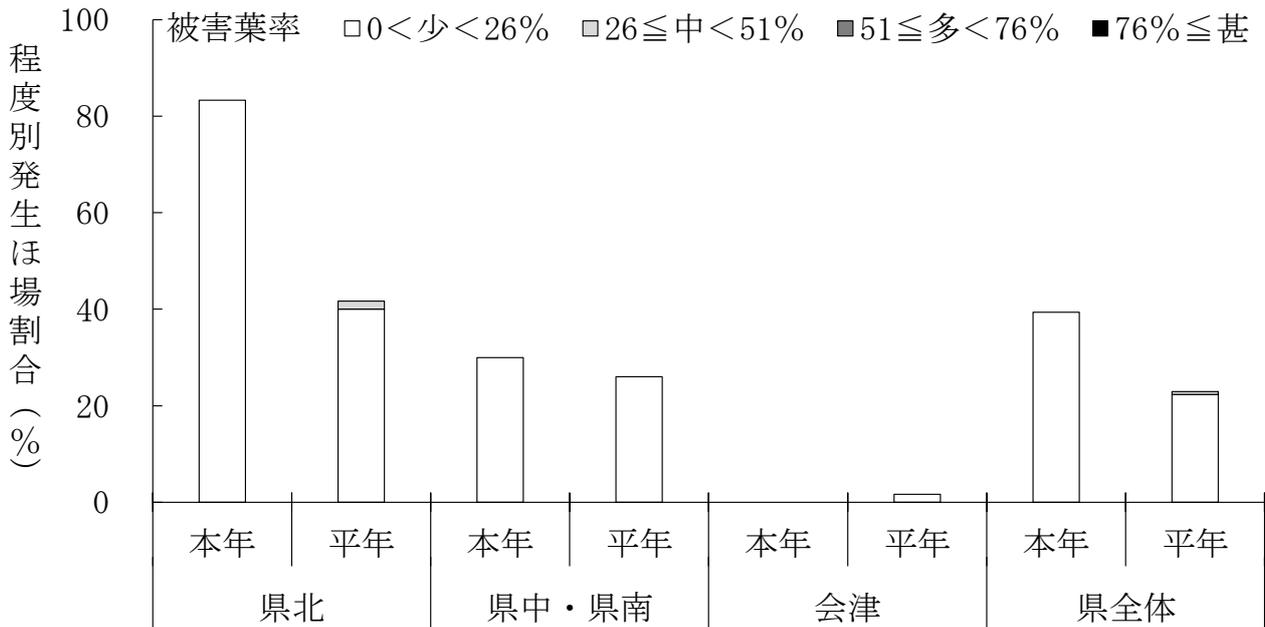


図3 キンモンホソガの発生状況（8月中下旬）

#### (5) シンクイムシ類

果実での発生ほ場割合は、全域で平年並でした。

#### (6) ハマキムシ類

果実被害は確認されませんでした。

#### (7) ハダニ類

新梢葉での寄生ほ場割合は、県北地方では平年よりやや高い状況でした（図4）。園地での発生状況をよく観察し、要防除水準（1葉当たり雌成虫1頭以上）に達した場合は、薬剤散布を実施しましょう。

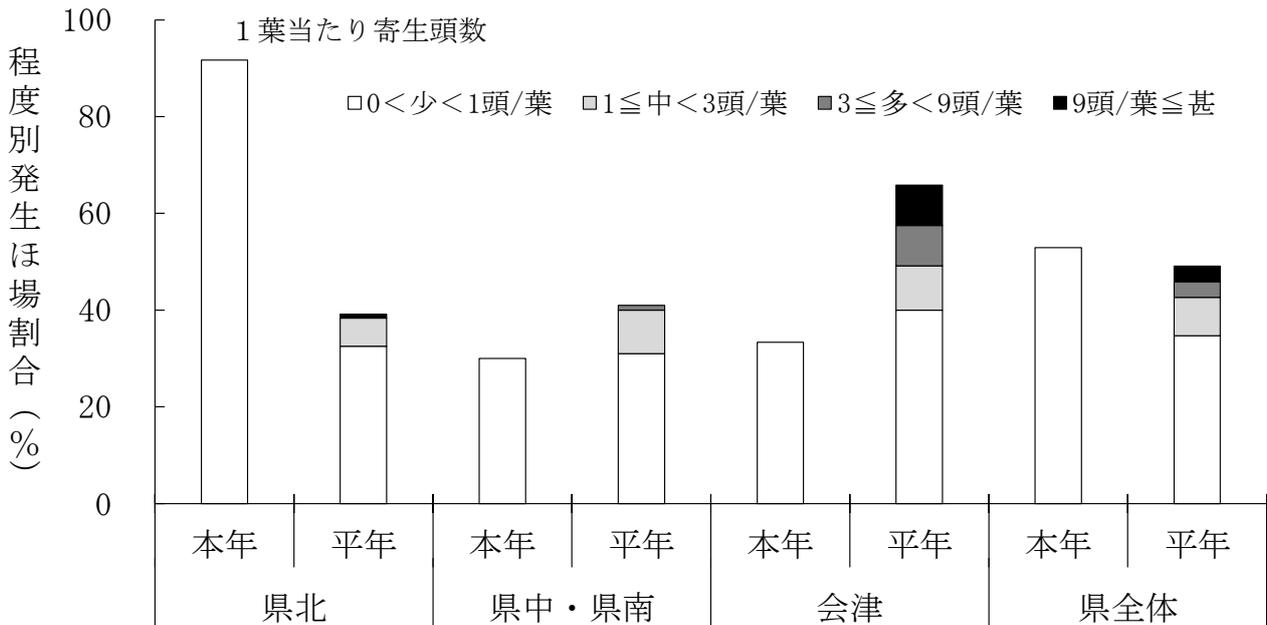


図4 ハダニ類の発生状況（8月中下旬）

### (8) カメムシ類

果実被害発生ほ場割合は、平年よりやや高い状況でした（図5）。カメムシ類の園地への飛来状況をよく確認し、多数の飛来が確認された場合薬剤散布を実施しましょう（令和6年7月30日付け令和6年度病害虫発生予察情報注意報第3号参照）

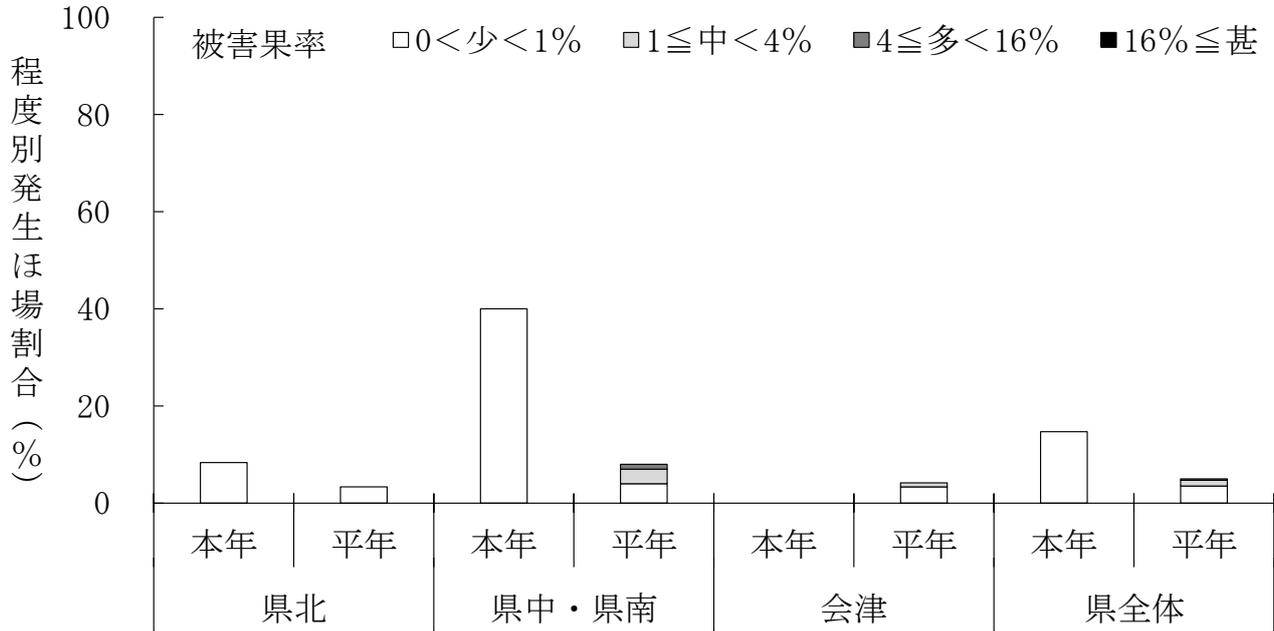


図5 カメムシ類による果実被害の発生状況（8月中旬）